成城大学文芸学部 主催

〈笑い／恐怖〉を翻訳する

―― 初年次教育と研究をつないで

ゲスト講師

講演①〈笑い〉

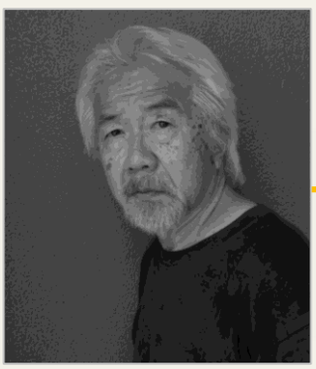


© cedric diradourian

鴻巣 友季子（こうのす ゆきこ）

翻訳家・文芸評論家
日本文藝家協会常務理事

講演②〈恐怖〉



© Dirk Skiba

管 啓次郎（すが けいじろう）

詩人・比較文学研究者
明治大学教授

ディスカッション登壇

髙山 花子（たかやま はなこ）（明治大学助教・フランス思想）　ほか、文芸学部より各分野教員 登壇予定

2026.11.28（土）14:00-17:00

成城大学3号館地下1階 003教室

申込多数につき、会場拡大！

参加方法

イベントページの申込フォームより、
11/25(水)までにお申込みください。
※入場無料

イベントページ▶

https://www.seijo.ac.jp/events/cvt4qu000001f729.html

開催趣旨

成城大学文芸学部では、6学科の1年生全員を対象とする必修科目「文芸講座」を開講しています。今年度前期は〈笑い〉と〈恐怖〉を共通テーマに、各学科の教員がそれぞれの専門分野や研究と結びつけながら、これから始まる専門的な学びへの導入を図りました。本シンポジウムでは、授業担当教員による実践報告を通して、初年次教育の現場を紹介するとともに、翻訳家・文芸評論家の鴻巣友季子氏、詩人・比較文学研究者の管啓次郎氏をお迎えして、〈笑い／恐怖〉と翻訳について考えます。ここでいう「翻訳」は、単なる言語の置き換えではありません。異なる文化や学問領域、研究と教育をつなぎ、新たな理解を生み出す営みとして翻訳を捉えます。

〈笑い〉と〈恐怖〉を手がかりに、研究と教育、そして異なる文化をつなぐ「翻訳」の可能性を探ります。学生、研究者、翻訳に関心のある方、そして広く一般の皆さまのご参加をお待ちしています。

詳細は裏面へ▶

登壇者紹介

鴻巣 友季子（翻訳家・文芸評論家）

翻訳家、文芸評論家。おもな翻訳に『嵐が丘』（エミリー・ブロンテ、新潮文庫2003年）『恥辱』（J・M・クッツェー、ハヤカワepi文庫2007年）『風と共に去りぬ』（マーガレット・ミッチェル、新潮文庫2015年）『誓願』『老いぼれを燃やせ』（マーガレット・アトウッド、早川書房2020年・2024年）『灯台へ』（ヴァージニア・ウルフ、新潮文庫2024年）『ほんのささやかなこと』『あずかりっ子』（クレア・キーガン、早川書房2024年・2025年）、著作に『翻訳教室』（筑摩書房2012年）『翻訳ってなんだろう？』（筑摩書房2018年）『文学は予言する』（新潮選書2022年）『なぜ日本文学は英米で人気があるのか 』（ハヤカワ新書2025年）『英語と日本語、どうちがう？』（NHK出版2025年）『小説、この小さきもの』（朝日新聞出版2025年）などがある。

管 啓次郎（詩人・比較文学研究者）

明治大学教授。詩人、比較文学研究者。おもな詩集に『数と夕方』（左右社2017年）『犬探し／犬のパピルス』（インスプリプト2019年）『一週間、その他の小さな旅』（コトニ社2023年）、著作に『本は読めないものだから心配するな』（左右社2009年、新装版ちくま文庫2011年）『斜線の旅』（インスクリプト2011年、読売文学賞）『本と貝殻：書評/読書論』（コトニ社2023年）、小説集に『ヘトロトピア集』（コトニ社、2024年）、翻訳に『こどもたちに語るポストモダン』（ジャン＝フランソワ・リオタール、筑摩書房1998年）『星の王子さま』（サン＝テグジュペリ、角川書店2011年）『スティーヴン・クレイン全詩集』（コトニ社2025年）などがある。

髙山 花子（明治大学助教・フランス思想）

明治大学助教。フランス思想研究者。著書に『モーリス・ブランショ――レシの思想』（水声社2021年）『鳥の歌、テクストの森』（春秋社2022年）『世界のかなしみ――『苦海浄土』全三部試解』（月曜社2025年）、翻訳に『詩の畝――フィリップ・ベックを読みながら』（ジャック・ランシエール、法政大学出版局2024年）『文学時評1941-1944』（共訳、モーリス・ブランショ、水声社2021年）、論考に「誰かの夢の書き起こし」（『文藝』2025年夏季号 特集「ドゥルーズ、終わりなき生成変化」、2025年4月）「インスタント・ラーメン」（『ユリイカ』2026年6月臨時増刊号 総特集◎中上健次 生誕80年、2026年5月）などがある。

文芸学部教員

教員紹介はコチラ▼

- 木下 誠 教授（英文学）
- 赤塚 健太郎 教授（音楽学・舞踊学）
- 田本 はる菜 専任講師（文化人類学）
- 下田 和宣　准教授（ドイツ哲学）
- 坪野 圭介 准教授（米文学）
- 中野 智世 教授（ドイツ史）

スケジュール

14:00 ご挨拶・概要案内　総合司会：木下 誠

14:10 第１部：初年次教育としての「文芸講座」　司会：赤塚 健太郎

- 授業実践報告（田本 はる菜／下田 和宣）
- ディスカッション（鴻巣 友季子／管 啓次郎）

15:00 第２部：〈笑い／恐怖〉、翻訳、研究　司会：木下 誠

- 講演①〈笑い〉「わらいはえらい　悲劇か喜劇かそれが問題だ」（鴻巣 友季子）
- 講演②〈恐怖〉「怖くない話がだんだん怖くなる　内田百閒その他の作家たち」（管 啓次郎）
- ディスカッション（髙山 花子／坪野 圭介／中野 智世）

17:00 閉会

アクセス

〒157-8511
東京都世田谷区成城6-1-20
小田急線「成城学園前」駅より徒歩4分

※ 校内に駐車場はございません。
公共交通機関をご利用いただくか、
近隣のパーキングをご利用ください。



諸注意

- 当講演は自由席となります。
- 講演内容の録画・録音、写真撮影は固くお断りいたします。
- 講演中の飲食はご遠慮ください。但し、ペットボトル・水筒など蓋つきのお飲み物はお持ち込みいただけます。

お問合せ
〒157-8511
東京都世田谷区成城6-1-20
成城大学文芸学部
公式サイト▼
www.seijo.ac.jp/education/falit/
Mail ✉ : bungei55@seijo.jp

文芸学部では各公式SNSでも日々情報を発信しています。
公式SNS一覧▼
www.seijo.ac.jp/sns/